



睦み合いの心

桑折町立睦合小学校

学校の経営方針

- 1 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
- 3 少人数の良さを生かした学習指導・生徒指導
- 4 人権意識を高め「いじめ見逃し0」をめざす
- 5 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 6 読書指導の充実
- 7 指導力を培う校内研究・研修充実
- 8 社会に開かれた教育課程の実現

目指す教職員像：小さな学校(複式校)のメリットを生かす3ワーク

- チームワーク：全職員の良さを生かす意識
- フットワーク：役割を果たし、互いの業務の隙間を埋める意識
- ネットワーク：保護者・地域・関係機関との良好な関係を築く意識

教育目標

学び合い 睦み合い
元気でねばり強い むつみっ子

めざす子ども像

学び合う子ども

確かな学力の定着

望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる

- 1「主体的、対話的で深い学び」をめざす授業を実践します。**
- 思考力・判断力・表現力を高め「わかった・できた」を実感できる授業実践
 - 複式教育の工夫
 - 学び方の定着(ファシリテーターの育成)
- 2自ら学びを進める学習習慣を育成します。**
- 徹底反復の推進
 - 家庭と連携した家庭学習の推進(家庭学習スタンダードの活用)
 - 自主学習の工夫(自主学習のガイダンスとR-PDCAの意識化)
 - タブレットの有効活用
- 3読書習慣を育成します。**
- 学校図書館の環境整備(調べ学習・並行読書など)
 - 読書活動の充実(図書ボランティア・読み聞かせ・家読)

睦み合う子ども

豊かな人間関係づくり

自他を大切にする心を持ち、快くすすんで協力できる

- 1望ましい人間関係を育成します。**
- 互いの良さを認め合う活動の推進
 - 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成(「むつみっ子の一日」、毎月のめあて)
 - 縦割活動、異学年交流活動の充実
- 2人権を尊重する豊かな心を育成します。**
- 道徳的判断を促す「道徳科」の授業の充実
 - 教育相談体制の充実(QUテスト、いじめアンケート、教育相談、学び方教室、SC・SSWとの連携)
 - 人権課題を意識した指導(人権教育)
- 3豊かな社会性を育成します。**
- 体験活動の充実(自然文化体験、出張講座、ふるさと学習、キャリア教育)
 - 地域人材の活用(学校支援ボランティア、ゲストティーチャー)

元気でねばり強い子ども

健やかな心と体の育成

基本的生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる

- 1基本的生活習慣を育成します。**
- 心身の健康を保つ生活習慣の育成(早寝・早起き・朝ごはん)
 - 食育の推進(栄養のバランスのとれた食事、栄養素と体の成長等)
- 2体力の向上を図ります。**
- 学習カードの活用による継続的な運動への取組と運動習慣の定着
 - 運動身体づくりプログラムの実践による体力の向上
- 3健康・安全教育の充実を図ります。**
- 専門家による各種安全教育の実施(生活安全、交通安全、災害安全)
 - 放射線教育の充実
 - 感染防止対策の徹底

第7次福島総合教育計画

目指すべき姿

「個人と社会のWell-being(一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ)の実現」
桑折町教育振興基本計画(2022～2031)
教育委員会重点事項
「桑折町の15歳のめざす姿」

保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせたい。
- 自分から学習に取り組んで欲しい。
- 基本的生活習慣を身につけさせたい。
- 健康で強い心と体を育てたい。

重点課題

実践事項

特別支援教育の充実

- 個に応じた支援
- OSC、SSW等との連携
- 通級指導教室との連携

社会に開かれた教育課程の実現

家庭との連携

- ICT教育の一層の推進(町連P連携)
- 「家読(うちどく)」の推進
- 積極的な情報発信(学校HP活用)
- 学校へ行こう週間
- 学校評価の実施

地域との連携

- ゲストティーチャーの活用
- 幼稚園や町内各学校等との連携
- 学校評議員会(年2回開催)
- 地域行事への参加奨励
- 地域素材の教材

教育活動の基盤整備・多忙化解消

- GIGAスクール構想への対応
- 校務分掌資料のデータ化(校務のICT化)
- チーム睦合の体制強化

新しい生活様式を意識した教育

制約がある中でも最大限の教育効果